

Public Interest Incorporated Foundation for Shiretoko Institute of Wildlife Management

設立財団ニュースレター

Vol. 15

2018年7月31日発行

第3回 首都圏賛助会員・支援者の会を開催しました

理事 家村 充尋

日 時：2018年6月7日（木） 18：30-20：30

場 所：JICA 地球のひろば 603号室（東京・市ヶ谷）

講 師：唐沢 敬 国際研究インスティテュート (IIS) 代表、立命館大学名誉教授・経済学博士

テーマ：「知床自然大学院大学の設立を可能にするために」

国際研究インスティテュート (IIS) の分科会としての第3回目となる「首都圏賛助会員・支援者の会」を、参加者8名で開催しました。今回の掲題テーマでの講演は IIS 代表である唐沢敬氏にお願いしました。

同氏の専門は世界経済論、とりわけ石油資源・エネルギーや国際金融問題ですが、立命館大学大学院で「エネルギー・環境政策」を担当していた関係もあって環境・生態系問題の重要性を痛感しており、

長年「国際エコロジー経済学会」にも関与、常に念頭にある課題であったとのこと。当財団との関わりは、3年前に趣味の釣りで知床へ行ったときにたまたま知床自然大学院大学設立運動への協力を要請されたのが契機だったということで、以来賛助会員として強力な支援をしていただいています。

講演内容は知床自然大学院大学設立問題に関わる政策・学術上の意義や問題点の指摘と、具体的に豊富な提言に溢れる内容でした。知床の世界自然遺産



としての価値の再確認、海洋・陸域ともに種の豊富な生態系と生物多様性があり、管理計画や管理方式を含め国際的にも関心が集まっていること、とりわけ注目すべきは海洋資源の問題で、気候変動や地球温暖化の影響に対する懸念も年々増え、知床漁業の振興を含めこれと正面から取り組むことが重要とのことでした。さらに、これらの課題を日本だけでなく国連（＝ユネスコ）など世界的に発信してゆくことで国際的な貢献につながるということなどを強調されました。

設置が望まれる教育科目や高等教育機関の形態についても、いくつもの総合的・具体的な提案がありました。なかでも教育機関の形態の一つとして、「研究所」設立方式による人材育成について詳細な説明があり、大変興味深いものでした。大学院設立は容易な事業ではないことを考えると、非常に傾聴すべき

提案と思われます。また設立運動の推進方法についても地元の知床地域に歓迎され、かつ地域の発展に貢献すべきことが重要だという指摘はもとより、資金計画や支援体制に関する提案に至るまで、これも多彩な内容でした。

同氏は、80年代以降、米国アイビーリーグ8大学との共同研究やアメリカン大学との協働による日本初の共同学位プログラムの開発、日本の大学の国際化等に深く関わってきています。そのご本人からのお話を聞くという、大変貴重な機会となりました。改めて講演を引き受けていただいたことを感謝申し上げます。

講演後の議論も引き続き1時間以上行いましたが、白熱の議論収まらず前回同様有志による2次会へなだれ込みした次第でした。

唐沢 敬（からさわ けい）氏 略歴

1. 現在 国際研究インスティテュート（IIS）代表、
立命館大学名誉教授・経済学博士

2. 専攻 世界経済論、資源環境経済論、エネルギー・環境政策

3. 略歴 1935年生まれ。明治大学政治経済学部経済学科卒業（1959）、アジア・アフリカ研究所講師等を経て、高知県立短期大学教授（1981-88）、立命館大学・大学院教授（1988-2001、研究部長 1992-94、国際地域研究所長 1997-2000）、東京国際大学教授・顧問等（2001-11）。米ジョージ・タウンズ大学高等国際問題研究大学院（SAIS）客員教授 / 研究員等（1994-95）、カザフスタン大統領府附置行政学院客員教授（1999）、同国際ビジネス大学客員教授（2008）など歴任。

この間、資源・エネルギー、貿易・通貨・金融問題を中心に世界経済と国際関係の研究に従事。途上国の開発支援や米欧・アジアの大学・シンクタンク等と共同研究、国際会議・学会で報告、東アジア・中央アジア・中東諸国の経済調査や政策提言等に注力。また、国際協力機構（JICA）その他の委託による中東産油国・中央アジア諸国の経済政策立案支援等日本の対外経済協力活動に参画。

2001年、「国際研究インスティテュート（IIS）」を設立。2011-13年「南太平洋島嶼国の開発と生物多様性保護」プロジェクトを主導、政策提言。

4. 所属 日本多国籍企業学会、科学進歩日本委員会（JCSD）、英王立国際問題研究所、カザフスタン国際情報アカデミー



★★ 知床ネイチャーキャンパス 2018 を開催します ★★

世界自然遺産にも登録された知床は、野生生物の科学的保護管理の先進地です。知床ネイチャーキャンパスは、この地を舞台に、この分野の第一線で活躍する先生方が講師を務め、保護管理の実際に関する講義、野外実習、グループワークなどを体験する教育プログラムです。3 回目の開催となる 2018 年は、地域産業（漁業、観光業、農林業）と野生生物との共存がテーマです。

※ 参加者の募集は締め切りました

知床ネイチャーキャンパス 2018

- テーマ：「知床で学ぼう！地域産業と野生生物との共存」
- 日 時：2018 年 9 月 19 日（水）～9 月 21 日（金）
- 会 場：ホテル知床（北海道斜里郡斜里町ウトロ香川 37）
- 実 習：斜里町及び羅臼町の知床世界自然遺産地域と周辺
- 主 催：公益財団法人知床自然大学院大学設立財団
- 対 象：学部学生、大学院生、社会人（自然関係職員や一般社会人）
知床自然大学院大学設立財団の賛助会員
- 定 員：24 名（募集は締め切りました）
- 受講料：3,000 円（資料代・実習費・保険料）
- 参加費：学生 13,000 円、社会人 18,000 円
（3 泊分の宿泊費と食費、交流会費を含みます）
※会場までの往復交通費は参加者負担となります。

○ スケジュールとプログラム

1 日目 9 月 19 日

開会式・オリエンテーション

講義 1～3 知床の自然の概要と歴史や地域産業、世界遺産地域の保全対策、ヒグマ対策などの講義を行います

実習 1～2 知床五湖や岩尾別地区のヒグマ生息地における国立公園利用者との共存策、農地における被害対策などを学びます

演習 1 グループワークのためのチームビルディングを行います

2 日目 9 月 20 日

実習 3～4 羅臼沿岸を航海し、クジラ類や海鳥の観察や、漁業と海域生態系保全について学びます

講義 4～7 実習を踏まえ、海域生態系保全と漁業の共存、海棲哺乳類と漁業の共存、海鳥保護と観光などの講義を行います

演習 2 チームごとに分かれ、少人数ゼミを行います



3日目 9月21日

実習5 ウト口漁港でサケの水揚げ、周辺河川でサケの遡上を見学します
 演習3～4 チーム別のゼミ、グループワークやまとめ、発表準備などを行います
 オープンキャンパス・交流会

3日間の学習成果を、地元住民を交えた場で発表し、交流や意見交換を行います

○ 講師紹介 (敬称略)

桜井 泰憲	函館頭足類科学研究所所長・北海道大学名誉教授 知床世界自然遺産地域科学委員会委員長
敷田 麻実	北陸先端科学技術大学院大学知識マネジメント領域教授・ 知床世界自然遺産地域科学委員会委員 (適正利用・エコツーリズムWG 座長)
小林 万里	東京農業大学生物産業学部教授・知床世界自然遺産地域科学委員会海域 WG 委員
福田 佳弘	知床海鳥研究会代表・知床ウト口海域環境保全協議会事務局長
石名坂 豪	公益財団法人知床財団 主任研究員・博士 (獣医学)
野別 貴博	公益財団法人知床財団 主任研究員・博士 (水産科学)
中川 元	公益財団法人知床自然大学院大学設立財団業務執行理事・元知床博物館長 知床世界自然遺産地域科学委員会適正利用・エコツーリズム WG 委員

○ お問い合わせ

〒099-4117 北海道斜里郡斜里町青葉町 28 番地 10
 公益財団法人知床自然大学院大学設立財団
 TEL : 0152-26-7770 (または 090-4871-4591) FAX : 0152-26-7773
 e-mail : sizendaigaku@wine.plala.or.jp Web : <http://shiretoko-u.jp>

■ 知床ネイチャートーク 2018 を開催します！

知床自然大学院大学設立財団業務執行理事の中川 元(元知床博物館長)が、知床の自然の特徴や、野生動物と人との関わり、流氷と生物、知床開拓から世界遺産までの歴史、共存のための取り組みなどを、わかりやすく解説するトークイベントです。下記の日程で、斜里町ウト口の4つのホテルロビーで開催します。

入場無料。申込不要。宿泊者以外の人もご参加できます。

第1回 8月8日 (水) 20:30～21:20 知床第一ホテル
 第2回 8月28日 (火) 20:30～21:20 北こぶし知床 ホテル&リゾート
 第3回 8月29日 (水) 20:30～21:20 KIKI知床 ナチュラルリゾート
 第4回 8月31日 (金) 20:30～21:20 ホテル知床



知床ネイチャートーク 2018
 Shiretoko Nature Talk

知床自然大学院大学設立財団主催。公益財団法人知床財団協賛。知床自然大学院大学設立財団業務執行理事の中川元が、知床の自然の特徴や、野生動物と人との関わり、流氷と生物、知床開拓から世界遺産までの歴史、共存のための取り組みなどを、わかりやすく解説するトークイベントです。

8/8 (水) 20:30～21:20 知床第一ホテル
 8/28 (火) 20:30～21:20 北こぶし知床 ホテル&リゾート
 8/29 (水) 20:30～21:20 KIKI知床 ナチュラルリゾート
 8/31 (金) 20:30～21:20 ホテル知床

参加費 ▶ 無料
※観覧券は別途販売。お申し込みください。

中川 元
 Shigenori Nakagawa

 知床自然大学院大学設立財団業務執行理事
 元知床博物館長
 博士(獣医学)

主催：公益財団法人 知床自然大学院大学設立財団
 協賛：知床財団 TEL: 0152-26-7770 e-mail: sizendaigaku@wine.plala.or.jp

評議員会・理事会報告

2018 年 4～7 月に開催した評議員会・理事会について報告いたします。

平成 30 年度第 1 回評議員会

開催日時：2018 年 6 月 10 日（日）午後 5 時

開催場所：斜里町ゆめホール知床・会議室 2

決議事項

第 1 号議案 「平成 29 年度（2017 年度）事業報告書」承認の件

第 2 号議案 「平成 29 年度（2017 年度）決算報告書」承認の件

第 3 号議案 理事選任の件

以上について審議し、可決されました。

協議事項

1. 賛助会員の加入状況及び募金の状況について
2. その他の業務報告



平成 30 年度第 1 回理事会

（定款第 36 条に基づく「決議の省略」による）

理事会の決議があったと見なされた日：2018 年 5 月 15 日

決議事項

第 1 号議案 「平成 29 年度（2017 年度）事業報告書」承認の件

第 2 号議案 「平成 29 年度（2017 年度）決算報告書」承認の件

第 3 号議案 平成 30 年度第 1 回評議員会（定時）招集の件

第 4 号議案 理事候補者の件

について、書面による同意の意思表示にて可決しました。

平成 30 年度第 2 回理事会

開催日時：2018 年 6 月 10 日（日）午後 3 時

開催場所：斜里町ゆめホール知床・会議室 2

報告事項

1. 代表理事・業務執行理事の業務執行報告
2. 賛助会員の加入状況及び募金の状況について
3. その他の業務報告

協議事項

1. 知床ネイチャーキャンパス 2018 の開催計画について
2. 今年度の事業展開について

平成 30 年度第 3 回理事会

開催日時：2018 年 6 月 10 日（日）午後 6 時

開催場所：斜里町ゆめホール知床・会議室 2

決議事項

第 1 号議案 代表理事及び業務執行理事選任の件

■□■ 平成 29 年度事業報告 ■□■

平成 29 年度は財団設立から 5 年目、公益財団法人認定から 4 年目となり、定款に沿った公益目的事業の取り組みを積極的に行うと共に、公益法人制度に則った正確な組織運営に努めました。公益事業では、野生生物と人間社会との間に生じた様々な問題解決と共生を実現する専門家を養成する高等教育研究機関の計画策定と実現へ向けた事業について、前年度までの活動成果を踏まえた活動の充実を図りました。計画策定事業では、目指す教育機関の教育プログラムや教育課程などについて、計画策定専門委員会での議論を行い、各委員との意見交換の場を多く設けて検討を継続しました。また、教育活動の実践を通して計画策定に生かすため「知床ネイチャーキャンパス 2017」を開催しました。広報活動の基本となるニュースレターの発行とホームページへの情報掲載を精力的に行いました。加えてブログ掲載頻度の拡大や動画の活用、SNS を利用した広報活動をさらに充実させました。昨年度に続き地元自治体への報告や意見交換の場を積極的に持ち、理解と協力の拡大につなげました。賛助会員や支援者・支援企業の拡大を図り、「賛助会員の集い」等の交流の場を設けて支援の輪を広げる活動を展開しました。

I 公益事業

1 知床自然大学院大学設立準備事業

(1) 知床自然大学院大学計画の策定と専門委員会の開催

平成 25 年度に発足した計画策定専門委員会の第 7 回を開催しました。知床ネイチャーキャンパス 2017 の開催結果を基にその評価と課題の検証を行い、その結果を踏まえた 2018 年のネイチャーキャンパス開催内容の検討と、3 年間の実践を踏まえた教育プログラムの整理やカリキュラム策定について意見交換を行いました。加えて実践成果の活用方針と、教育機関実現へ向けた行程についても検討しました。

第 7 回計画策定専門委員会

日 時：2018 年 3 月 16 日（金）午後 1 時 20 分～4 時

場 所：札幌市産業振興センター（札幌市）

参加者：委員 9 名、オブザーバー 1 名



<知床自然大学院大学設立財団計画策定専門委員>

委員長	梶 光一	東京農工大学大学院教授・財団理事	委員	曾野 知雄	レスコム北海道・OWL VISION 代表
副委員長	中村太士	北海道大学大学院農学研究院教授	委員	中川 元	元知床博物館館長・財団業務執行理事
委員	小林万里	東京農業大学生物産業学部教授	委員	松田裕之	横浜国立大学大学院環境情報研究院教授
委員	桜井泰憲	北海道大学名誉教授	委員	横山真弓	兵庫県立大学自然環境科学研究所教授
委員	敷田麻実	北陸先端科学技術大学院大学教授	委員	吉田剛司	酪農学園大学環境共生学類教授
委員	鈴木正嗣	岐阜大学応用生物科学部教授	委員	吉田正人	筑波大学大学院人間総合科学研究科教授
オブザーバー	大森司紀之	北海道大学名誉教授・財団顧問	オブザーバー	渡辺綱男	元環境省自然環境局長・財団顧問
オブザーバー	田中俊次	東京農業大学名誉教授・財団代表理事			

(2) 地元自治体・地元環境団体との 連携協力体制の構築

斜里町など地元自治体、公益財団法人知床財団や公益財団法人北海道環境財団、認定 NPO 法人北海道市民環境ネットワーク「きたネット」などの環境・教育関係団体に当財団の活動や計画について説明を行い、活動への理解と協力を求めました。斜里町とは活動内容の説明と意見交換の場が 5 月と 11 月の 2 回設けられました。知床財団にはネイチャーキャンパス開催計画への助言と講師の派遣などの協力をいただきました。

(3) 設立資金確保の取り組み

前年度からの方針に沿って、養成する人材・教育内容・教育方法について幅広い広報活動を展開し、並行して支援の拡大と資金の獲得の行動を行いました。「知床ネイチャーキャンパス」等の事業成果の説明や設立計画の説明とあわせた法人・経済人等への訪問、支援要請活動を行いました。同様に、活動成果の紹介と設立計画の普及に並行した個人賛助会員獲得に努め、賛助会員の新規加入や一般寄附金の増加がありました。設立資金確保についてはさらなる要請行動の展開が課題となりました。

2 普及啓発・広報事業及び調査研究事業

(1) 「知床ネイチャーキャンパス 2017」の開催と広報活動

<開催概要>

日時：2017 年 9 月 30 日～10 月 2 日

会場：斜里町ウトロ及び知床国立公園内

講師：中村太士、石川幸男、梶光一、竹中健、増田泰、敷田麻実

受講者：20 名

(北海道内の他、東京都、新潟県、栃木県、神奈川県から大学生や大学院生、保護管理に関わる現職の社会人の参加)

テーマは「知床で学ぼう 自然復元・自然再生」。7 つの講義と 2 日間の実習を行いました。知床の森林再生事業である「知床百平方メートル運動」を取り上げ、40 年の経過と成果、課題の克服について講義と現場実習を行ったほか、河川工作物の改良等による取り組みを、岩尾別川流域を実習フィールドに学びました。また、まとめのワークショップ、それに先立つ実習として知床の保護管理にあたる環境省や林野庁、北海道庁などの現地機関へ訪問取材を行いました。受講生による発表会は「オープンキャンパス」と銘打って地元ホテルを会場に開催し、地元住民や保護管理機関職員らも参加し、テーマ発表と質疑応答、意見交換を行いました。

開催記録は写真や動画を使用し、ホームページのブログやニュースレターへの掲載、フェイスブックやツイッターの活用による活動紹介を行いました。



(2) 「知床ネイチャートーク 2017」の開催

当事業年度からの新しい広報事業として、「知床ネイチャートーク」を 2017 年 8 月の 1 ヶ月間、斜里町ウトロで開催しました。知床を訪れる観光客や地元住民を対象に、知床の自然と歴史、野生生物の保護管理対策等の内容をスライドによってわかりやすく解説し、当財団が計画する教育機関の必要性と人材養成について普及啓発を行いました。

第 1 回	8 月 1 日	午後 8 時～9 時	知床第一ホテル	約 40 人参加
第 2 回	8 月 8 日	午後 8 時～9 時	知床プリンスホテル風なみ季	約 50 人参加
第 3 回	8 月 22 日	午後 8 時～9 時	知床グランドホテル北こぶし	約 50 人参加
第 4 回	8 月 30 日	午後 8 時～9 時	ホテル知床	約 30 人参加



(3) 賛助会員の集いの開催

首都圏と札幌圏の賛助会員や支援者が集まり、意見交換や交流を深める場をそれぞれ設定しました。講演による勉強の機会や問題意識の共有、親睦や交流の場として生かすことができました。

＜首都圏賛助会員・支援者の会＞

日時：2018 年 1 月 13 日 14 時
 会場：JICA 市ヶ谷ビル・セミナールーム（東京都）
 参加者：16 名

＜札幌シャチの会＞

日時：2018 年 2 月 16 日 16 時
 会場：夜会（札幌市）
 参加者：16 名

(4) 会報誌「設立財団ニュースレター」の発行

当事業年度は会報誌を 3 回発行し、賛助会員や関係者に送付するとともに、ホームページに PDF 版を掲載しました。

＜第 12 号＞ 2017 年 7 月 31 日発行 16p
 兵庫県立大学横山真弓教授による特別寄稿「求められる野生動物管理の人材養成～地方自治体のケース～」、平成 28 年度事業報告ほか

＜第 13 号＞ 2017 年 12 月 10 日発行 12p
 知床ネイチャーキャンパス 2017 の開催結果報告、法人賛助会員・団体賛助会員の紹介ほか

＜第 14 号＞ 2018 年 3 月 31 日発行 8p
 首都圏賛助会員支援者の集い・札幌賛助会員の集い（札幌シャチの会）の開催結果、おすすめ図書の紹介ほか

(5) ネットを活用した広報活動

<ホームページの運用と公式ブログの積極的な更新>

昨年度にリニューアルしたホームページを運用し「野生生物との共存」「専門家の必要性」等について写真を使ったわかりやすい解説を掲載。活動報告や行事案内、賛助会員募集等の内容充実に努めました。またホームページ内の公式ブログでは、「Interview」、「シレットコってどんなトコ」、「ワイルドライフマネジメント News」、「知床コラム」の4つのカテゴリーに分けて、1~2週間に1度の頻度で更新しました。

知床自然大学院大学設立財団
ホームページ
<http://www.shiretoko-u.jp>

知床自然大学院大学設立財団
Facebook
<https://www.facebook.com/shiretoko.u/>

<SNSの活用>

Facebookを継続運用し、行事案内や知床の自然・野生生物に関する情報など幅広い情報提供とブログ記事への誘導を行ったほか、新たにTwitterの運用も始めました。ソーシャルグッドプラットフォーム「gooddo」や、オンライン寄付サイト「GiveOne」への参加もSNSを通してPRし、財団活動への支援を幅広い層に呼びかけました。

知床自然大学院大学設立財団
Twitter
<https://twitter.com/sizendaigaku>

(6) 報道機関への情報提供と取材対応

北海道内の各新聞社やテレビ局等への情報提供や取材対応を行い、活動状況の周知や理念・目的の広報に努めました。特に知床ネイチャーキャンパスの開催については、計画の段階から各社の取材を受け、開催中は数社の新聞社に密着取材をいただきました。講師の執筆によるコラム記事の掲載も複数ありました。これらの報道を通し、今後の活動方針と教育プログラムの実際や目指す人材育成について広範な理解を得ることができました。

(7) パンフレット、行事案内チラシの活用

財団紹介パンフレットと専門家養成解説パンフレットを引き続き活用し、各種会合や行事開催の場で賛助会員拡大や支援者拡大に努めました。また知床ネイチャーキャンパスの開催案内チラシを作成し、道内道外の大学や大学教員、関係行政機関等に送付するとともに、斜里・羅臼両町の住民には新聞折り込みとして配布し、事業への参加を呼びかけました。

(8) 調査研究事業

昨年度に引き続き、野生生物保護管理に関する論文や報告書の収集、人材養成に関する資料等の調査と収集を行ったほか、各大学・大学院の教育課程やカリキュラム事例の収集と検討を行い、教育プログラムの作成に活用しました。また保護管理に関わる機関等の職員募集状況に関する情報収集を行いました。2017年11月の「野生生物と社会」学会帯広大会に参加し、ポスター発表「野生動物保護管理専門の現場教育の可能性・その3-教育プログラム実践としての知床ネイチャーキャンパス開催-」を行いました。同年11月に筑波大学東京キャンパスで開催された国際シンポジウム「地域に根ざした自然保護」のワークショップでは、知床の保護管理の実際と人材養成活動について報告しました。

II 理事会及び役員等に関する報告

1 理事会

<平成 29 年度第 1 回理事会>

(定款第 36 条に基づく「決議の省略」による)

理事会の決議があったと見なされた日：2017 年 5 月 15 日

決議事項

第 1 号議案 「平成 28 年度 (2016 年度) 事業報告書 (案)」承認の件

第 2 号議案 「平成 28 年度 (2016 年度) 決算報告書 (案)」承認の件

第 3 号議案 平成 29 年度第 1 回評議員会 (定時) 招集の件

以上、原案通り可決しました。

<平成 29 年度第 2 回理事会>

開催日時：2017 年 6 月 11 日 (日) 午後 1 時より

開催場所：斜里町ゆめホール知床・会議室 2

- 報告事項
1. 代表理事及び業務執行理事の業務執行報告
 2. 賛助会員の加入状況及び募金の状況について
 3. 活動助成金の申請について
 4. その他の業務報告

- 協議事項
1. 今年度の事業展開について
 2. 賛助会員拡大の取り組みについて
 3. その他の協議事項



<平成 29 年度第 3 回理事会>

開催日時：2018 年 3 月 11 日 (日) 午後 1 時より

開催場所：斜里町ゆめホール知床・会議室 2

- 決議事項
- 第 1 号議案 「平成 30 年度 (2018 年度) 事業計画 (案)」承認の件
 - 第 2 号議案 「平成 30 年度 (2018 年度) 収支予算 (案)」承認の件
(資金調達および設備投資の見込みを含む)

以上、原案通り可決しました。

- 報告事項
1. 代表理事・業務執行理事の業務執行報告
 2. 賛助会員の加入状況及び募金の状況について
 3. 「知床ネイチャーキャンパス 2017」の開催結果報告
 4. 「知床ネイチャートーク 2017」の開催結果報告
 5. 「首都圏賛助会員・支援者の会」の開催結果報告
 6. 札幌圏賛助会員集会「札幌シャチの会」の開催結果報告
 7. 活動助成金の申請について

- 協議事項
1. 知床ネイチャーキャンパス 2018 の開催計画について
 2. 今後の活動展開について

1-2 役員等に関する事項 2018年(平成30年)3月31日現在

<役員>

役職	氏名	就任年月日	担当職務	略歴
理事	田中 俊次	2013年1月22日	代表理事	東京農業大学名誉教授
理事	中川 元	2013年1月22日	業務執行理事	元知床博物館館長
理事	上野 雅樹	2013年1月22日	業務執行理事	知床ユネスコ協会理事
理事	家村 充尋	2013年1月22日		知床ユネスコ協会会員
理事	石川 勝	2014年6月8日		羅臼町前教育委員長
理事	梶 光一	2013年1月22日		東京農工大学教授・日本哺乳類学会前理事長
理事	金澤 裕司	2013年1月22日		羅臼町教育委員会自然環境教育主幹
理事	齋藤 卓也	2013年1月22日		公益財団法人北海道環境財団評議員
理事	鈴木 幸夫	2013年1月22日		会社員 日本聖公会東京教区監事
理事	中田 尊徳	2016年6月12日		会社社長 斜里青年会議所元理事長
理事	滝澤 大徳	2014年6月8日		知床山考舎代表
理事	三宅 雅久	2014年6月8日		北海道ふるさと会連合会理事
監事	木村 耕一郎	2013年1月22日		斜里町議会議長
監事	廣川 昭廣	2013年1月22日		税理士

※役員報酬を支給している常勤役員は1名。

役員には当法人の事業・業務に関する必要な経費を、本人からの申請に基づき支給している。

<顧問及び相談役>

役職	氏名	就任年月日	略歴
顧問	大泰司 紀之	2013年1月22日	北海道大学名誉教授
顧問	松浦 晃一郎	2013年1月22日	公益財団法人日仏会館理事長 前ユネスコ事務局長(第8代)
顧問	渡辺 綱男	2013年1月22日	自然環境研究センター上席研究員 国連大学シニアプログラムコーディネーター 前環境省自然環境局長
相談役	丹保 憲仁	2013年1月22日	北海道立総合研究機構理事長 北海道大学名誉教授(第15代総長)

※理事会の諮問に応じて当法人の事業・業務に対して指導・助言などのご支援をいただいている。

※報酬は支給していないが、代表理事から委任された当法人の事業・業務に関する必要な経費を支給する場合がある。

2 評議員会

<平成 29 年度第 1 回評議員会（定時）>

（定款第 20 条に基づく「決議の省略」による）

評議員会の決議があったと見なされた日：2017 年 6 月 15 日

決議事項 第 1 号議案 「平成 28 年度（2016 年度）事業報告書（案）」承認の件
 第 2 号議案 「平成 28 年度（2016 年度）決算報告書（案）」承認の件
 以上について書面による同意書の意味表示にて可決しました。

2-2 評議員に関する事項 2018 年（平成 30 年）3 月 31 日現在

<評議員>

役職	氏名	就任年月日	略歴
評議員	石 弘之	2013年1月22日	環境問題研究家
評議員	上野洋司	2013年1月22日	前知床斜里町観光協会会長
評議員	午来 昌	2013年1月22日	元斜里町長
評議員	鈴木真吾	2013年1月22日	元斜里町教育委員長
評議員	土橋利文	2013年1月22日	斜里町商工会会長
評議員	深山和彦	2013年1月22日	ウトロ漁業協同組合代表理事組合長

※報酬を支給している評議員はないが、当法人の事業・業務に関する必要な経費を、本人からの申請に基づき支給している。

III 法人の運営状況について

1 事務局の状況

常勤の業務執行理事 1 名と非常勤の事務局長（理事） 1 名、常勤の事務局員 1 名による運営体制としています。また、必要に応じて代表理事及び業務執行理事が事務局における決裁業務を職掌しているほか、会計処理や決算においては理事 2 名が在宅で事務局をサポートしています。会計処理の正確性と効率化を図るため、平成 26 年度より会計ソフトを導入しました。

2 税額控除団体の認定

平成 26 年 8 月 8 日、当法人は内閣総理大臣から「税額控除に係る証明」を受けました。これに伴い寄付金控除の選択肢が拡大し、従来の「所得控除」に加えて新たに「税額控除」制度が適用されることになりました。

3 ファンドレイジングの状況（賛助会員と寄附金について）

	種別	予算（件数）	予算（金額）	実績（件数）	実績（金額）
賛助会員	個人	200	1,000,000	119	595,000
	団体	10	100,000	5	50,000
	法人・法人特別	70	3,000,000	39	1,740,000
	小計	280	4,100,000	163	2,385,000
寄附金		---	5,200,000	41	3,470,340
	合計	---	9,300,000	204	5,855,340
大学院設立資金	目標額	---	500,000,000	---	42,000 (累計) (1,520,600)

(金額単位：円)

賛助会員の新規募集と寄付金要請は、役員による訪問等の要請行動の他、事務局からの文書やパンフレット送付による案内を随時行いました。また、パンフレット配布やホームページの活用、SNS を利用した広報活動、主催事業の参加者や関係イベント会場でのパンフレット配布を行いました。パンフレットは地元の集客施設等にも置いていただきました。

これらにより、賛助会員は前年度よりやや増加したほか、一般寄付金は 41 件で昨年度より 32% 増、金額では 53% 増となりました。しかしながら賛助会費と寄付金の合計額は予算額（目標額）の 63% に留まりました。

大学設立資金の確保については、活動実績や教育機関計画の広報に重点を置いたことから十分な成果を得られず、小口寄付のみとなりました。

また、オンライン寄付サイト「GiveOne」やソーシャルグッドプラットフォーム「gooddo」に参加し、ネットによる支援システムからの寄付金受入を行いました。

次ページより、平成 29 年度決算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書）を掲載しました。

貸借対照表

平成30(2018)年3月31日現在

公益財団法人知床自然大学院大学設立財団

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,125,216	157,287	967,929
未収金	440	1,120	△ 680
仮払金	40,266	17,650	22,616
流動資産合計	1,165,922	176,057	989,865
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
大学院設立資金(定期預金)	1,440,908	1,398,789	42,119
大学設立資金(その他)	80,000	80,000	0
特定資産合計	1,520,908	1,478,789	42,119
(3) その他固定資産			
保証金	60,000	60,000	0
ソフトウェア	342,306	342,306	0
減価償却累計額	△ 245,321	△ 182,566	△ 62,755
その他固定資産合計	156,985	219,740	△ 62,755
固定資産合計	4,677,893	4,698,529	△ 20,636
資産合計	5,843,815	4,874,586	969,229
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	6,630	△ 6,630
未払費用	82,543	14,924	67,619
前受金	15,000	35,000	△ 20,000
預り金	29,689	15,458	14,231
未払法人税等	20,000	20,000	0
流動負債合計	147,232	92,012	55,220
負債合計	147,232	92,012	55,220
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	1,520,600	1,478,600	42,000
受取利子	308	189	119
指定正味財産合計	4,520,908	4,478,789	42,119
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	1,520,908	1,478,789	42,119
2. 一般正味財産	1,175,675	303,785	871,890
正味財産合計	5,696,583	4,782,574	914,009
負債及び正味財産合計	5,843,815	4,874,586	969,229

正味財産増減計算書

平成29 (2017) 年 4月 1日から平成30 (2018) 年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	255	255	0
受取会費	2,385,000	2,365,000	20,000
賛助会費 (個人)	595,000	555,000	40,000
賛助会費 (団体)	50,000	50,000	0
賛助会費 (法人)	1,740,000	1,760,000	△ 20,000
受取寄付金	3,470,340	2,277,091	1,193,249
一般寄附金	3,432,200	2,277,091	1,155,109
管理指定寄附金	38,140	0	38,140
雑収益	76,224	12	76,212
普通預金受取利息	4	12	△ 8
その他収益	76,220	0	76,220
経常収益計	5,931,819	4,642,358	1,289,461
(2) 経常費用			
事業費	3,588,703	4,259,517	△ 670,815
役員報酬	630,000	630,000	0
給与手当	954,000	954,000	0
福利厚生費	144,011	143,330	681
会議費	7,673	16,720	△ 9,047
旅費交通費	643,010	1,267,423	△ 624,413
通信運搬費	228,775	217,348	11,427
消耗品費	32,477	17,555	14,922
修繕費	14,580	0	14,580
印刷製本費	279,567	221,582	57,985
水道光熱費	64,175	54,130	10,045
事務所賃借料	211,050	208,688	2,362
会場賃借料	2,720	166,520	△ 163,800
リース料	182,251	181,818	433
保険料	4,611	3,286	1,325
諸謝金	100,000	60,000	40,000
委託費	54,000	32,400	21,600
広告宣伝費	20,351	55,595	△ 35,244
支払手数料	5,454	13,122	△ 7,668
支払負担金	10,000	10,000	0
雑費	0	6,000	△ 6,000
管理費	1,471,227	1,287,715	183,512
役員報酬	210,000	210,000	0
給与手当	318,000	318,000	0
福利厚生費	48,004	47,776	228
会議費	2,036	2,247	△ 211
旅費交通費	520,148	367,324	152,824
通信運搬費	37,361	32,913	4,448
減価償却費	62,755	68,460	△ 5,705
消耗品費	4,840	3,503	1,337
修繕費	4,860	0	4,860
印刷製本費	81,642	58,595	23,047
水道光熱費	21,392	18,043	3,349
事務所賃借料	70,350	69,562	788
会場賃借料	1,080	780	300
リース料	60,750	60,606	144
支払手数料	6,910	8,206	△ 1,296
租税公課	21,100	21,700	△ 600
経常費用計	5,059,929	5,547,232	△ 487,303
評価損益等調整前当期経常増減額	871,890	△ 904,874	1,776,764
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	871,890	△ 904,874	1,776,764
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	871,890	△ 904,874	1,776,764
一般正味財産期首残高	303,785	1,208,659	△ 904,874
一般正味財産期末残高	1,175,675	303,785	871,890
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	42,000	12,650	29,350
受取寄付金 (大学設立資金)	42,000	12,650	29,350
特定資産運用益	119	130	△ 11
大学院設立資金受取利息	119	130	△ 11
当期指定正味財産増減額	42,119	12,780	29,339
指定正味財産期首残高	4,478,789	4,466,009	12,780
指定正味財産期末残高	4,520,908	4,478,789	42,119
III 正味財産期末残高	5,696,583	4,782,574	914,009

知床自然大学院大学設立財団は、 活動を支援して下さる **賛助会員、寄附金** を募集しています

■賛助会員とは

この財団の目的に賛同する個人・団体・法人が会費を通じて支援するものです。

■会員の年会費

個人会員：5,000円

団体会員：10,000円

法人会員：20,000円

法人特別会員：100,000円

※年度ごとの納入となります。

■加入申込み方法

「申込書」と「郵便振替用紙」をご使用ください。これらは当財団ホームページからプリントアウトできます（入金は右記口座への入金でも受付しています）



知床自然大学院大学設立財団ホームページ
賛助会員・寄附金募集ページ

■賛助会員の特典

当財団のニュースレターや絵はがき、講演会やネイチャーキャンパス等の案内情報を優先的にお送りします。

■寄附金について

寄附金も随時募集しています。
賛助会員加入同様にお申し込みください。

■主な入金口座について

ゆうちょ銀行 記号 19940 (普) 10138691
(※他の金融機関から 店名九九八 番号 1013869)
北洋銀行斜里支店 店番 452 (普) 3119440
北海道銀行斜里支店 店番 904 (普) 0530326
網走信金斜里支店 店番 003 (普) 0284957
大地みらい信金羅臼支店 店番 003 (普) 1072873

オンライン寄付サイト「Give One」からも
知床自然大学院大学設立財団をご支援いただけます！



設立財団ニュースレター 第15号

発行 公益財団法人知床自然大学院大学設立財団
〒099-4117 北海道斜里郡斜里町青葉町 28-10
TEL 0152-26-7770 FAX 0152-26-7773 E-mail sizendaigaku@wine.plala.or.jp
Web <http://www.shiretoko-u.jp>

発行日 2018年7月31日